

6月16日(金)

りす組

お兄ちゃん、お姉ちゃんとの関わり♡

園庭や散歩先で、他の年齢の子たちと同じ空間（場所）で遊ぶことが増えてきました。以前は、沢山の子どもたちがいる場に行ったり、担任以外の保育者に声を掛けられたりするだけで不安で泣いていた子どもたち。しかし、園の生活に慣れてきたり、最近では、ダンゴムシツアーに参加したりして異年齢の子どもたちと触れ合う機会がぐんと増えてきたことで、お兄ちゃんお姉ちゃんに対しての反応が変わってきたように感じます。

お兄ちゃんの方から「赤ちゃん、かわいい♡」「ダンゴムシ見る？」などと優しく声を掛けてくれ、それに対してりす組の子どもたちも恥ずかしそうに微笑んだり、「なんだろう？」とダンゴムシに興味を示したりして異年齢の関わりを喜んでいます。お兄ちゃん、お姉ちゃんが楽しんでいる姿を見ているうちに段々と子どもたちも楽しい気持ちになってきて、いつの間にか、隣りに行って何をしているのかを見ている子もいます。

異年齢での関わりをきっかけに、自分たちの周りにいる自然物や生き物に気づき始めている様子です。子どもたちの関わりを見守りながら様々な子どもたちの興味や関心に保育者も目を向けながら一緒になって楽しんできたいと思います。



ダンゴムシ見てみる？



お姉ちゃんがダンゴムシを触っていると自然と隣りに来た子どもたち

動いているのは何だろう？

